

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	6	身体拘束について、さらに意義を深め、情報を取得していくために、外部研修に定期的に参加する。また、身体拘束ゼロ宣言を進めていくうえで、家族にも理解を得るために、運営推進会議でも身体拘束に関する勉強会を行う。	身体拘束ゼロ宣言を行う。	昨年より、身体拘束、虐待防止委員会が中心になり、毎日勉強会を行ってきた。引き続き毎月の勉強会は継続する。外部の研修にも積極的に参加する。また、運営推進会議でも勉強会を行うと共に、勉強会の進捗状況も報告する。	6 か月	
2	28	ケアプランに則したケアが実践できるよう、全職員が日常的にプラン目標を確認する取り組みを検討する。プラン目標の実施チェックを毎日行ったり、支援経過とケアプランを同じファイルに保管して同時に見られるようにする。	毎日ケアプランに則したケアを実践する。	ケアプランとチェック表を同じファイルで管理することにより、全職員がケアプランに則した介護の実践が出来る。	3 か月	
3	45	チェック表は縦軸に項目、横軸に時間で、2軸に分けているが、縦横を入れ替えて、縦に24時間にすることで記入スペースを増やし、より細かい情報の記載が出来るようにする。また、個人個人で必要不必要が分かれる項目もあるので、必須項目とそうでないものを分けてコンパクトな仕様にする。	見やすいチェック表づくりを行う。	チェック表を見直すことにより、より細かい情報の記載をし、状態の変化が見やすくなる。現場の介護職員の意見を聞きながら、ケアプランに則したチェック表づくりを目指す。	6 か月	
4	14	人権教育について、管理者が受けている研修の、人権関連を含めたものに関して、資料回覧や伝達研修を行う。また、外部研修に参加する。	人権教育に取り組む。	運営理念に「入居者の尊厳を守ります」と掲げている。日々朝礼時に運営理念を唱和し、人権尊重を意識し、介護を行う。現在管理者が研修に参加しているので、研修終了後伝達研修を行う。	2 か月	
5	8	権利擁護制度利用の可能性があるため、年に1回程度定期的に勉強会を行ったり、外部の研修に参加する。	権利擁護の勉強会を行う。	以前、成年後見制度を利用していた入居者様がいた。職員が入れ替わり、制度を理解していない者が多くなっているため、定期的に研修を行う。	12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()